

シリーズ the グリーン購入 vol.9 『自動車』

【ちょっと待って、「グリーン購入」って？】

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際、環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入することです。


杉戸町では、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」いわゆる「グリーン購入法」が施行されたことを受け、町での運用管理を推進し、全庁が一体となった環境物品等の調達を目指すため、「第2次杉戸町環境保全率先実行計画」（平成20年3月策定）において、町が特に調達を推進する物品等の品目やその調達目標を定めた「杉戸町グリーン購入ガイドライン」により、取組の更なる推進を図っています。


【改めまして、『自動車』の選び方です】

このシリーズでは、町の「グリーン購入ガイドライン」の内容と共に、国による「地方公共団体におけるグリーン購入取組ガイドライン」の内容も紹介いたします。

内容に若干の差異が生じることもございますが、各部署、出先施設・機関では、原則として、町の「グリーン購入ガイドライン」に準じるものを推進しています。

第2次杉戸町環境保全率先実行計画「杉戸町グリーン購入ガイドライン」より抜粋

品目名	着眼点	判断の目安及び判断の基準
自動車	<ul style="list-style-type: none"> 鉛の使用量（バッテリーに使用されているものを除く）が削減されていること。 資源有効利用促進法の判断の基準を踏まえ、製品の長寿命化及び省資源化又は部品の再使用若しくは素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。 再生材が多く使用されていること。 <p>・配慮2 再生プラスチック材の一度使用された製品からの再使用部品が多く使用されていること。</p> <p>・配慮3 「資源の有効な利用の促進に関する法律」の判断の基準を踏まえ、製品の長寿命化・省資源化や部品・素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい技術の活用等により、従来の自動車と比較して、著しく環境負荷の低減を実現した自動車であって、次に掲げる自動車であること。 <p>天然ガス自動車 電気自動車 ハイブリッド自動車 メタノール車 下記の基準を満たさずガソリン自動車</p> <p>A. 乗用車にあつては、「低排出ガス車認定実施要領」（運輸省告示・平成12年3月13日、第103号）の基準の75%低減レベルに適合し、かつ、省エネ法に基づき定められた通商産業省・運輸省告示（平成11年3月31日、第2号）に定める基準を満たすこと。ただし、利用ニーズに合う適当な車種がない特別な場合には下記Bの判断の基準の自動車の中から、排ガス性能の良い自動車を優先して購入することとする。</p> <p>B. 乗用車以外の一般公用車にあつては、「低排出ガス車認定実施要領」（運輸省告示・平成12年3月13日、第103号）</p>

		の基準(25%低減レベル以上)に適合し、かつ、省エネ法に基づき定められた通商産業省・運輸省告示(平成11年3月31日、第2号)に定める基準を満たすこと。
一般公用車用タイヤ	<p>・走行時の静粛性の確保</p> <p>・配慮3</p> <p>「資源の有効な利用の促進に関する法律」の判断の基準を踏まえ、製品の長寿命化・省資源化や部品・素材の再利用のための設計上の工夫がなされていること。</p> <p>・配慮5</p> <p>製品の包装は、再生利用の容易さ、廃棄時の負荷低減に配慮されていること。また、包装材の回収及び再使用又は再生利用システムがあること。</p>	<p>・国の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の「判断の基準」を満たすものであること。</p> 

環境省発行「小規模地方公共団体のためのグリーン購入ガイドライン」より抜粋

環境配慮型製品の選び方

自動車

Point 購入時のポイント「ラベルをチェック！」

①



達成マーク

②



乗用車

③



RV車、4WD車

1. 国土交通省が定めるガソリン乗用車の燃費基準値以上 (⇒ラベル①が目印！)
2. 1.を満たし、低排出ガス車認定で、乗用車は☆☆☆☆以上、その他 (RV車、4WD車 etc…) 車種は☆☆☆以上 (⇒ラベル②、③が目印！)

Plus 配慮するポイント



- ・アイドリングストップ機能をもつ車両であること
- ・再生材が可能な限り使用されていること (カタログ等に再生材使用率が記載)

Eco 取組の背景「自動車はCO₂をどれだけ出しているの？」

ガソリンなど化石燃料を使用する自動車は、地球温暖化の原因であるCO₂を排出します。国内CO₂全排出量のうち、運輸部門は22.0%を占め、自動車は約87%を占めると推計(2001年度推計—日本自動車工業会より)されています。CO₂排出量は、ガソリン1Lの使用で2.32kg、1000Lで2.32tであり、これは1世帯約半年分のCO₂排出量に匹敵する値です。燃費が改善されることで、CO₂排出量を削減するだけでなく、排出ガス中に含まれる様々な有害物質も排出削減できます。

Cost コストについて「燃費のよい車は節約上手★」

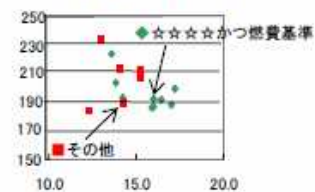
燃費の良い車と悪い車の年間コストを比較すると、下表のように前者の方がコスト削減になります。
 ※同じ車体重量で比較し、税制優遇は考慮していませんがA車ならさらに優遇を受けられます (H19.12月現在)

A車 燃費 16.0 km/L 燃費基準 & ☆☆☆☆どちらもクリア★ 	B車 燃費 12.4 km/L どちらの基準もクリアしていない… 
車両価格対決!!	
1,848,000 円	1,827,000 円
補足：セダントタイプ (1,800~2,000cc クラス) のH18 最低価格 ※コラム参照	
燃料代対決!!	
86,250 円	115,000 円
計算方法：年間走行距離 1万(km) / 燃費(km/L) × ガソリン代 138 (円/L) ← H19.10.25 時点	
車両価格 + 燃料代(1年分) で ¥7,750 安いので、Aが勝ち！	
通常廃車になるまでの9年間では、トータル ¥69,750 Aが安い！！	

Column コラム「燃費と車両価格のドライな関係」

自動車の価格と燃費の関係を、公用車でよく見かけるセダントタイプの1,800~2,000ccクラスの自動車で見ます。
 「H.17 排出ガス基準☆☆☆☆+H.22 燃費基準を満たす自動車◆」と「その他に分類した自動車■」の右の分布を見ると、車両価格と燃費は特に関係しないことがわかります。

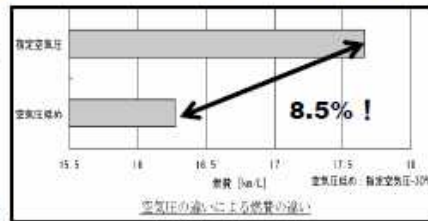
(万円) 車両価格と燃費の関係



Use 使用のポイント「エコメンテ+気遣い=地球にやさしいカーライフ」

1. 空気圧の点検を行う (月1度程度)

空気圧が下がると燃費が悪くなります。右図データでは、車両の指定空気圧より30%低くなると、燃費が8.5%悪化しています。



(出典：国民生活センター)

2. リサイクルパーツで修理、部品交換する

リサイクルパーツは、自動車整備事業者や販売会社等を通じ、全国のネットワーク事業者から購入する方法が一般的です。価格は新品より安価 (2~5割程度)で、取り外しや検査、加工方法等に業界基準が定められており、品質も安定しています。修理の際にリサイクルパーツを使うことを条件とした自動車保険料割引サービス等もあり、リサイクルパーツ利用推進が図られています。

3. 環境にやさしい「エコドライブ」を心がける

「無駄なアイドリング、空ふかしをやめる」、「急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる」など。(※交通エコロジー・モビリティ財団エコドライブ10項目より)

